

みんなぞくづくぐり！ 人にやさしく、住みよいまちづくり

令和4年度 町長施政方針 (電子)

令和4年第1回日の出町議会定例会で、田村町長が施政方針を発表し、町議会と町民の皆様に対して理解と協力を求めました。



田村町長

はじめに

私が、昨年4月の町長選挙において町民の皆様信任をいただき、橋本聖二前町長の後任として第6代目の日の出町長に就任して1年が過ぎようとしています。

この1年を振り返ってみますと、まさに新型コロナウイルスとの戦いの日々でございました。就任直後の東京都のまん延防止等重点措置に始まり、その後、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が繰り返され、また、延長され今日に至っております。

それに伴って、国や東京都の方針に準じて町の主催や協賛する事業も中止や規模縮小を余儀なくされ、また町内にある高齢者のための福祉施設をはじめ集いの場である多目的施設等では、期間を区切って利用休止にいたしましたことから、町民の皆様にご不自由やご不便をおかけしております。

町では医療関係者の皆様の献身的なご協力と職員の努力により、ワクチン接種を開始し、医療従事者等の先行接種、65歳以上の高齢者、12歳から64歳の方への第1回から第2回の接種を行ってまいりました。昨年末からは、医療従事者等の先行接種に始まり、順次、第3回目の接種を行っております。

また、町内での感染者の自宅療養者等の増加に伴い、保健所からの要請や町としての対応として、パルスオキシメーターの配布や電話による声掛けなども行っております。

この2年の間、様々な状況乗り越え

6つの施策の柱(1)「プラスワン」の展開

1 ひのでA(安全)・A(安心)大作戦
令和元年の台風19号では、都道の崩落に伴い第17・18自治会では孤立状態が発生しました。町では3年度に日の出町地域防災計画及び日の出町国土強靱化地域計画を策定し、計画的な対応策に取り組んでいるところです。

林道については、まだ未復旧の路線もあります。また、それぞれ年次計画に基づき復旧を図っております。

また、尊い人命にかかわる交通事故や、お年寄りを狙ったオレオレ詐欺などの特殊詐欺も町内で常に発生しており、警察からはたびたび注意喚起が行われています。

◇消防・防災
日の出団地北側法下(のりした)災害復旧工事については終了いたしました。引き続き町有地の安全管理に努めてまいります。



復旧工事が終了した日の出団地北側法下

浸水予想区域や土砂災害警戒区域の見直しについては、東京都の作業の進捗に合わせ、ハザードマップを新たに作成してまいります。

消防団については、小型ポンプ積載車

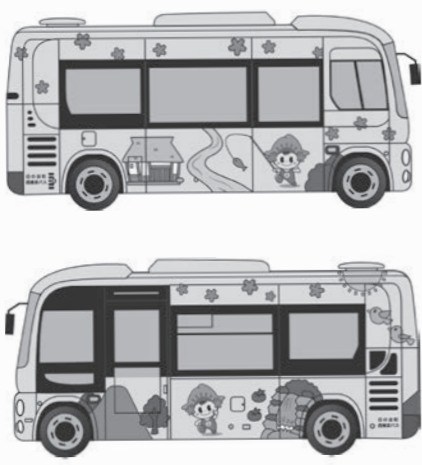
てきました。この間の町民の皆さま、医療や福祉の現場の皆さま、教育現場の先生方、各事業者の皆さま、そのほかすべての方々。が仕事や日常の暮らしの場で、献身的に業務に従事され、また、新型コロナウイルスの基本的な対策を実践され、ワクチン接種を受けるなど、様々な町からのお願いを受け入れて下さいました。ご理解とご協力があったからこそでございます。あらためまして、皆さまに心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、収束までにはまだ時間がかかるとも言われていますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。

町民の安全安心な生活(暮らし)を守るための災害への対応について申し上げますと、東日本大震災からは11年が過ぎ津波などへの記憶の風化を心配してまいりましたが、昨年来、国内各地で地震が発生し、数千キロ離れた南太平洋にあるトンガでの火山噴火により日本列島各地に津波が押し寄せ、幸いなことに人的な被害はなかったようですが、「災害は忘れたころにやってくる」を実感し、災害への緊張感を新たにいたしました。これらへの対策として、コロナ禍での防災訓練等は難しいものがありますが、創意工夫により実施してまいりたいと思っております。

「コミュニティバスにつきましては、安全運行のための町道の工事やバス停の設置も順調に進んでおり、愛称の「ぐるりんひのでちゃん」、車体を飾るラッピングデザインもそれぞれ公募により決定いたしました。

また、生活環境の向上のため、地域公共交通のあり方について、既存の制度との研究を今後も引き続き行っております。



2 子育て支援の充実と お年寄りにやさしいまちづくり

当町でも子ども数の減少は早くから言われており、今から18年前の平成16年の合計特殊出生率が0.79、17年は0.88と、子育て支援を最重要課題とせざるを得ない状況となり、次世代育成クーポンや医療費の助成などを開始しました。

日の出町の行政について

令和4年度は、第五次日の出町長期総合計画の前期基本計画に基づいて「生涯にわたって健康で安心して暮らせるまち、交流を基盤に若者もいきいき定住するまち、人と文化が輝くわたしのふるさとひので」を基本目標に掲げ、SDGsの理念を踏まえ、「6つの施策の柱(1)「プラスワン」をまちづくりの中心施策といたします。

財政運営については、東京たま広域資源循環組合からの地域振興費が令和3年度まで毎年10億円計上されておりましたが、4年度から段階的に減少してまいります。そのため事務事業評価シートを改定し、事務事業の効率化、職員の意識改革を図って行政の目的である住民福祉の向上に努めてまいります。また、福祉単独施策については検証会議の報告書を参考に町の方針を定めてまいります。さらには、日の出町の将来を見据えた行財政改革プラン及び第五次日の出町長期総合計画の後期基本計画策定など重要な計画づくりも予定しております。

少子高齢社会にあつて、私の町長としての基本姿勢である「人にやさしく、住みよいまちづくり」が実感できるよう、持続可能な制度づくりに取り組んでまいります。

また、団塊の世代の高齢化に伴い、医療機関への早期受診を促し、病気の重篤化を防ぎ健康を維持することによる福祉の向上や医療費の節減を目的に、75歳以上の後期高齢者、70歳から74歳までの高齢者の医療費の助成を実施してまいります。

これらの施策はそれぞれ所期の目的を達成していると思われるため、各制度の検証を行い、真に町民のための持続可能な福祉制度を構築するため、日の出町福祉単独施策検証会議にご意見を伺うこととし、昨年11月には検証会議から意見をとりまとめた「報告書」を提出していただきました。

今年度は、この報告書を参考として、私自身が見直しの方向性を決定し、令和5年度からの実施に向け町民の皆さまへの周知を始めとして、議会の皆様とともに準備を進めてまいりたいと考えております。

◇健康づくり・地域福祉

母子保健事業、予防接種事業、特定健康診やがん検診を実施し、子どもから高齢者まで予防に重点を置いた町民の健康づくりを推進します。

新型コロナウイルスとの戦いは3年目を迎えております。昨年からはワクチンの接種を開始し、多数の町民の皆様が接種をお受けいただきました。

さらに、昨年末からは医療関係者、今